

授業



1 | 授業

本学では学年を前期・後期の2学期に分けて授業を行います。授業日数は各曜日15回(1～14回は授業、15回は振り返り)を設定し、必要な授業時間数を確保しています。祝日法の改正により月曜日の授業回数の確保が困難なため、授業日の振替・調整により祝日に授業を行う場合もありますので、学年暦で授業日程を確認してください。

2 | 授業時間帯

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
時間	9:30～11:00	11:10～12:40	13:40～15:10	15:20～16:50	17:00～18:30

3 | 授業科目の分類と構成

授業科目は教養科目、共通科目、専門科目に大別されます。授業科目区分は必修科目、選択科目、自由科目により構成されています。

[教養科目]

教養科目は、大学教育のための基礎学力の確保と社会人、国際人としての教養を培うことを目的とした授業科目です。幅広い基礎教養のうえに立ち、正確な判断力、思考力、洞察力などを養い、また、国際コミュニケーション能力を身につけるなど総合的教養を修得できるよう科目を配置しています。

[共通科目]

共通科目は、大学の特色ある教育を目的とした授業科目です。

[専門科目]

専門科目は、教養科目及び共通科目を基礎として、学部、学科の教育ミッションを実現するための専攻内容を専門的に高めていく授業科目です。



[必修・選択科目等]

- ① 必修科目 … 学部・学科の教育・指導方針により単位の修得が義務づけられている科目。
- ② 選択科目 … 学生の興味、関心、あるいは将来の進路等にあわせて履修する科目。
- ③ 自由科目 … 卒業要件に含まれない教職課程に関する科目。

4 | 授業の方法

授業の方法には講義、演習、実験、実習、実技があります。

5 | 単位制

[単位の計算方法]

各授業科目の1単位あたりの学修時間数は教室内及び教室外をあわせて45時間とし、授業の方法に応じた基準により計算します。なお、本学における90分の授業時間は2時間とみなします。

科目ごとの授業外の学習時間数はシラバスに記載されているので確認してください。

6 | 授業の種類

- ① 前期授業…前学期において行われる授業。
- ② 後期授業…後学期において行われる授業。
- ③ 補講…休講となった授業の補充として行われる授業。
- ④ 週間授業…学年暦による1～14週、16週の決まった曜日、時限に行われる授業。
- ⑤ 集中講義…学外実習を主とする実習科目及び集中的に実施するスポーツ科目など週間授業外で行われる授業。

出席・欠席・休講

1 | 出席

履修登録した科目の授業はすべての回に出席することが原則です。授業開始前には指定の教室等に入り授業を受ける準備を整えてください。使用する教室等は変更になる場合がありますから、毎回の授業での連絡事項や愛産 UNIPA の掲示を確認してください。



2 | 遅刻・早退

授業開始に遅れた場合は「遅刻」とします。授業終了まで受講しなかった場合は「早退」とします。ただし、30分を超える遅刻・早退は「欠席」とします。

遅刻や早退は3回をもって欠席とみなします。

※補完学習

学生が授業を欠席・遅刻・早退し受講できなかった場合など、その授業の内容を学習できるように担当教員が用意する課題等。愛産 UNIPA に掲示される場合があります。

3 | 欠席

公欠・忌引以外で授業へ出席しなかった場合は「欠席」とします。また、30分以上の遅刻、30分以上の早退も「欠席」になります。

4 | 公欠

次の①～⑦に該当する事由で授業を欠席する場合は、公欠として取り扱います。

公欠を希望する学生は、「公欠承認願」（事由に係る証明書を添付する場合あり）を教務課へ事前に提出し、承認を受けた後、可能な限り事前に科目担当教員に連絡してください（原則事後1週間以内）。ただし、やむを得ない事由により事前に提出できない場合は、事後1週間以内（⑤については伝染のおそれがないと医師が認めた後）に教務課に提出するものとします。

- ① 本学の課外活動団体が事前提出する「課外活動実施許可願」の参加者名簿に記載された者が当該試合・行事等に参加する場合。
- ② 本学の要請により行事等へ参加する場合。
- ③ 就職活動による場合（会社訪問、合同企業説明会、採用試験受験、内定式、入社前研修等）。
- ④ 自然災害、公共交通機関の障害による場合。

- ⑤ 学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症を発症した場合。
- ⑥ 教職課程の教育実習、及び介護等の体験に関わる場合。
- ⑦ その他、本学が認めた場合。
公欠による定期試験の欠席は、定められた手続きにより追試験を受験することができる。



※「公欠承認願」は、教務課へ提出してください。ただし、③「就職活動」に関する公欠は、キャリア支援課にて取り扱います。
※承認を受けたのち、定められた期間に授業担当者に申し出てください。

5 | 忌引

3親等内の親族について、葬儀の日を含む下表の日数（土曜・日曜・祝祭日を含む連続した日数）を限度として認め、公欠として取り扱います。

ただし、下表の日数に対して、前後2日間ずつを限度に、旅行を伴う往復に要する日数を加算し認める場合があります。

死亡者	日数	
父母・子	7日	※「忌引承認願」には、学生本人と保証人の署名が必要です。 ※忌引（葬儀の日）を証明できる書類（会葬礼状等）を持参のうえ、「忌引承認願」に必要事項を記入し、事後1週間以内に教務課へ提出してください。 ※忌引の承認後、速やかに科目担当教員に連絡してください。
祖父母・兄弟姉妹	3日	
伯叔父母など	1日	
配偶者	10日	

6 | 休講

台風等の自然災害、または大学、担当教員にやむを得ない事情が発生した場合、授業を休講することがあります。休講の場合は愛産 UNIPA で通知します。

休講となった授業については補講を行います。

詳細は  へ

※愛産UNIPA出欠席情報ページ
授業への出欠状況は愛産UNIPAで閲覧できます。出欠記録に誤りがないか確認しましょう。

授業外の学習等

1 | 予習・復習

授業を受ける前に「予習」をしましょう。予習は授業内容の理解に効果があります。授業後には「復習」をしましょう。授業内容の定着度が格段にアップします。



2 | オフィスアワー

科目担当の先生へ質問ができる「オフィスアワー」を活用しましょう。授業についての質問だけではなく、資格取得や課外活動などの質問もできます。非常勤講師への質問は、授業終了後に時間を設けるようにしています。

3 | 研究活動における不正行為防止

本学では、「研究倫理規程」並びに「公的研究費の運営・管理等に関する取扱指針」を定め、研究活動の公正性を確保するために「研究活動の不正行為に関する規則」により、教職員、学生、研究活動に携わるすべての方について、不正行為の防止に努めています。

学生の皆さんも研究活動で悪質な行為（捏造、改ざん、盗用等）を行った場合は、停学や退学処分など厳しく罰せられ、卒業期間が延期されるだけでなく、奨学金が停止・廃止される可能性があります。また、指導教員に対しても管理監督責任が問われることになります。

例えば、出所を明記せずに引用したり、ウェブや書籍、論文から「コピー & ペースト」してレポートや論文を作成する行為は明らかな著作権法違反で刑事罰の対象となります。架空データの作成や、画像の一部を加工して流用することも不正行為です。

詳細は本学ホームページ「情報公開」にてご確認ください。

<http://www.asu.ac.jp/univ/information/>